

秋田県の地域公共交通の課題と施策の方向性について

地域公共交通における課題

- ・生活の足として必要不可欠な広域路線、域内路線の維持が困難となっている。

○県内の事業者が運行している路線バスの系統数

H28	H29	H30	R1	R2
289	283	281	263	259

- ・人口減少やコロナ禍により地域公共交通の利用者は減少傾向にある。

○県内の一般乗合旅客自動車の輸送人員（千人）

H28	H29	H30	R1
12, 240	12, 248	11, 866	11, 140

- ・自治体の財政的負担は増加傾向にある。

○市町村における公共交通に対する交付額（百万円）

H30	R1	R2
2, 027	2, 062	2, 296

- ・交通空白地域・交通不便地域における移動ニーズが存在している。

○交通空白地域・交通不便地域が存在していると回答した市町村数…17市町村

- ・慢性的な乗務員不足により乗務員の高齢化が進んでいる。

○乗合バス主要3事業者の乗務員の平均年齢（歳）

H30	R1	R2
53. 7	55. 3	55. 7

施策の方向性

地域公共交通ネットワークの維持・確保

地域公共交通の利用促進

地域公共交通の利便性・サービス水準の向上

地域公共交通におけるデジタル化への対応

地域公共交通の担い手不足の解消

同一/異なる交通モード間の乗り継ぎの円滑化

目指すべき姿

持続可能で
活気のある地域公共交通

活発な地域の創意工夫により
成長し続ける地域公共交通

デジタル技術が浸透し、
利用者・事業者双方にとって
やさしい地域公共交通

- 交通弱者（高齢者、障がい者等）の利便性向上の視点
- 利用者自らが乗って守るという視点